

— いつもの散歩道から —

秋は 実物の季節。

柴式部、野茨、真弓、藪木甘子…

皆それぞれに色や姿形が違うので、

見比べると面白い。

莢蓮は、果実酒にしても美味しい。

光を透過して深紅色に

それは美しく秋葉のよう。

手作りお菓子の香りづけにも色々。

お茶の時間が楽しくなります。



12月

文章と写真／玉井麻子  
(造園・ゴバイミドリ)



がまづみ

莢蓮。つやのある赤い実が秋の雑木林に彩りを添えます。



# 1月

けやき  
柳。扇形に広がる樹形が美しい。  
大木になるほどに丸みを帯びた樹形になります。

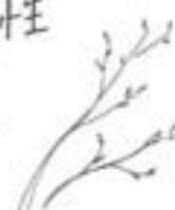
## ——いつもの散歩道から——

木々の樹形がはっきりとみてとれる  
季節になりました。

枝先までと伸びているもの、ゴツゴツと  
力強いもの、赤ちゃんの手の平のように  
ふわっと広がっているものなど個性  
あふれています。そして枝先には、  
小さな芽ばかりたくさん！

まだまだ寒いで可か。

春にむけての準備は、もう大台もっていります。



文章と写真／玉井麻子  
(造園・ゴバイミドリ)





# 3月

つくしんぼうでもおなじみの「土筆」。字のごとく、土から出て袴に覆われた姿がかわいらしい筆のようです。

## ——いつもの散歩道から——

春分を迎えた。陽光に暖められた大地が草花で賑やかになってきていた。

つくしを見つけると何だかうれしくて、

夢中になつて摘んで子供の頃が蘇ります。たくさん摘んだつくしの棒を母が指先を胞子で真っ黒にしながらとて、卵とにしてくれました。

それを家族みんなで、ほろ苦い春の香りと楽しんでいます。

毎月  
月

文章と写真／玉井麻子  
(造園・ゴバイミドリ)





# 4月

ウワミズザクラ(上溝桜)。

たくさんの中の小さな白い花をブラシ状につけて、ソメイヨシノ、サトザクラにリレーするように開花する。

—いつもの散歩道から—

初めてウワミズザクラと出会った時、

いわゆる“桜”的イメージとあまりに違うので、印象的でした。

満開になるとブラシ状の花が思い思いに動き出しそうで、その躍動感のある姿は、青空に咲く花火のよう。

甘美甘美しい新緑が美しい季節です。

ぜひお散歩しながら

春の景色を味付けたり！

文章と写真／玉井麻子  
(造園・ゴバイミドリ)





写真監修：川崎みどり研究会

# 6月

オオバギボウシ(大葉擬宝珠)。  
山野の湿った草地などに生育する多年草。オオ  
バギボウシの新芽は、春の山菜“ウルイ”的こと。

## ——いつもの散歩道から——

すうと流れるような葉脈が美しい  
葉がとても印象的。

初夏に咲く漏斗状の淡紫色の  
花もまた清々しく、しっとりとした雨が  
似合う植物だなあと思うのです。

そもそも湿り気のある場所に  
自生しているので、シェードガーデン  
(日陰の庭)におすすめです。





7月

クチナシ(梔子)。  
深緑の葉に映える純白の花が初夏の日差しに  
まぶしい。秋につける橙色の果実は黄色の染料  
として布や栗きんとんなどの色付けに使われる。

—いつもの散歩道から—

クチナシの甘い芳香が漂うと、私の  
記憶は、小学生時代の夏休みに  
タイムスリップします。

帰省した祖父母の家で過ごす  
楽しい日々。海水浴や近所の  
朝一へ行つてはり帰ってくる度に、  
この香りが優しく包んでくれました。  
玄関に植えてあるクチナシの木、  
香りが少なく大切な  
思い出の一ページです。

